

富山高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	国際物流論 I		
科目基礎情報							
科目番号	0135		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	村山 雅子						
到達目標							
物流の基礎的な概念を習得することを目標とする。物流の要素である輸送・荷役・保管などの各活動と、その役割について考える。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	国際ビジネスを取り巻く物流の現状を説明できる。		国際ビジネスを取り巻く物流の現状を不十分なながらも説明できる。		国際ビジネスを取り巻く物流の現状を説明できない。		
評価項目2	現代における物流やビジネスに関する問題点を説明できる。		現代における物流やビジネスに関する問題点を不十分なながらも説明できる。		現代における物流やビジネスに関する問題点を説明できない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	今日のビジネスを考えるにあたり、「物流」は大変重要なプロセスである。本講義では、物流の基礎概念を学ぶと共に、物流をはじめとして国際ビジネスを取り巻く現状を捉え、物流やビジネスに関する問題意識を醸成する。						
授業の進め方・方法	講義 事前に行う準備学習：前回の講義の復習を行ってから授業に臨むこと						
注意点	当科目では、ノート作成の際に、板書に加えて講義中に説明した内容を学生が各自記述することにより、理解をすすめていくことを促す。 評価が60点に満たないものは、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は、本試験と同じとする。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス	シラバスの説明			
		2週	物流の概念	物流概論 I・II で習得した物流の概念について復習する			
		3週	物流サービス	物流サービスの特徴について説明できる。			
		4週	交通・物流サービス	交通・物流サービスの特徴と役割について説明できる。			
		5週	国際物流の概念	国際物流の機能について説明できる。			
		6週	外航海運業	世界貿易と海上荷動きについて説明できる。			
		7週	外航海運業②	定期船と不定期船の特徴について説明できる。			
		8週	中間試験	既習範囲について試験を行う。			
	2ndQ	9週	外航海運の課題	他国経済の拡大が外航海運へ及ぼす影響について説明できる。			
		10週	外航海運の課題②	外航海運の課題について考察する。			
		11週	フォワーダーの役割	フォワーダーの機能と役割について説明できる。			
		12週	フォワーダーの役割②	航空フォワーダーの特徴について説明できる。			
		13週	フォワーダーの役割③	外航海運フォワーダーの特徴について説明できる。			
		14週	国際宅配便	国際宅配便の機能と役割について説明できる。			
		15週	期末試験	前期の既習範囲について試験を行う。			
		16週	成績評価・確認	期末試験の成績を確認する			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	5	35
専門的能力	40	0	0	0	0	5	45
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20